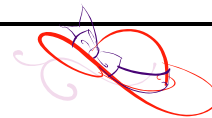


(ひよこ・りす・うさぎ 組の保護者の皆さんへ)



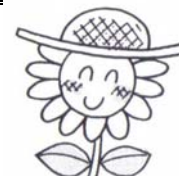
## 帽子について

これから日差しがきつくなり、本格的な夏がやってきます。夏場のみ、戸外あそびや散歩などの時に園のカラー帽子を使用せず、つばの広い帽子（麦わら帽子、チューリップハット）などを被って過ごしたいと思います。家にあるお持ちの帽子で結構ですので、7月7日（月）までにご用意ください。（ゴム・名前の記入もよろしくお願ひします。）

ひよこ組

# クラスより

## 今月の目標



- ・体を清潔に保ち快適に生活する。
- ・温水に慣れ楽しく遊ぶ。

入梅し過ごしにくい日もありますね。6月は子どもたちも鼻水や咳・発熱など体調を崩しやすかったです。まだ生まれて間もない子どもたちにとってこれからくる夏は体温調整が出来ず体温が上がったり疲れやすくもなります。一人ひとりの様子を見ながら休息と遊びをバランス良く取り入れ生活していこうと思います。汗をかいたら水分補給や沐浴・着替えなどをし気持ち良く、元気に過ごしましょう！

<さつき教室のお兄さん・お姉さんと遊んだよ>

お兄さん・お姉さんたちはひよこぐみの子どもたちを見るなり「かわいい！」と笑いかけてくれました。すると子どもたちも嬉しそうにお兄さんお姉さんに関心を持ち始め、恥ずかしそうにお姉さんたちの様子を伺っていました。そんな時お姉さんが「ばあ〜！」とおどけて見せてくれると喜んで子どもたちから関わろうとする様になりました。子どもたちの中には人見知りしてしまう子もいましたが保育士に抱かれながらもお姉さんたちを見つめ何かを感じている様でした。

この日は半日お姉さんに遊んでもらったり、お兄さんに離乳食を食べさせてもらいミルクも飲ませてもらいました。

いろんな人との関わりを楽しんだり、一人ひとりいろんなことを感じてくれたようでした。これからもいろんな人と出会っていろんな事を感じてほしいと思います。



りす組

## 今月の目標

- ・衣服の着脱に興味を持つ。
- ・水遊びの気持ち良さを感じる。



(お兄ちゃん・お姉ちゃんと一緒に)

今、少人数に分かれて、園庭遊びを取り入れています。園庭には、2歳児～5歳児までのお兄ちゃん、お姉ちゃんがいて、りす組の子も一緒になって真似をして遊ぶ姿が見られます。ミニ運動会后、異年齢児が園庭で、電車ごっこをして遊んでいると、りす組の子も興味を持って見ていたので、一緒に交ぜてもらいました。「ここに並ぶんやに」「この切符を渡してな！」とお姉ちゃんに言われ、りす組の子は、ちゃんと自分の番がくるまで待っていられました。でも、切符を破ってしまった子がいて「あ！それがないと乗れやんよ！」と言われ、お姉ちゃんは「私のあげるわ、もう破ったらあかんよ」と優しく接



してくれる姿がありました。子ども達の中では、小さくても大きくても遊びのルールを守る！という思いがあると思います。でもこうして「まだ小さいから」という思いやりを持って、小さい子に教えてあげる事でお互いが成長していくのでしょうかね。りす組のみんなもお姉ちゃん達にもらった事を、今度は自分より小さい子に返していけるといいなと思います。

(七夕製作)

七夕に向けて、七夕飾りの製作をしています。初めてののりを使った子もいて、今回は指先にチョンとのりをつけて塗る練習をしました。のりの感触を味わったり、のりを紙につけたら指にくっつき、不思議そうにしたりと、一つの製作の中で、子ども達は色々な事を感じたり、発見していました。まだ保育士の援助が必要ですが、「自分でしたい！！」と好奇心旺盛な子もいました。作品は持ち帰りしますので、楽しみにしててください。みんなの願い事が叶うといいですね。

## うさぎ組

### 今月の目標



- ・夏の遊びを楽しむ。
- ・いろいろな事に興味を持ち、自分でやってみようとする。

6月に入り、登園後、身の回りの整理・排泄を済ませてから園庭に多く出ました。園庭に多く出ることによって、以上児クラスの子との関わりが増え、刺激を受けることが多く、子ども達の動きも、遊び方も驚かされる事があります。手足を使う固定遊具も「せんせい、きてー！」と助けを求めながらも、やってみようというやる気、挑戦しようとする姿も増えてきました。出来た時の笑顔は、達成感と自信にあふれ本当に素敵です。こうした経験を、ひとつひとつ積み重ねることで、成長していくんだと感じさせられます。見てると同じように力が入り、ハラハラドキドキする事もありますが、喜びを同じように味わえることを嬉しく思います。

毎日の生活の中で、給食も子どもの楽しみな時間。お箸を使う子もいて、関心のある子もいます。クラスでは今、スプーンやフォークの握り方、お皿に手を添えること、食べる姿勢などについて、小さい時からの習慣が大切だと思い話をしています。少しずつ話してあげることで、意識して食べる子もいます。また、暑くなり着替える機会も増えてきました。“自分でしたい”という気持ちの子もいます。自分で着脱しにくくて、途中で「できやん。」とあきらめてしまう子もいます。子どもたちが関心を持ったとき、次への一歩へとつながる事も多いと思いますので、おうちの方にもご協力いただく事も多いかと思いますがよろしくお願い致します。



(トトロ・ピノキオ・ライオン組の保護者のみなさんへ)

☆麦わら帽子について

- ・人数確認やクラスの確認のために麦わら帽子にフェルトをつけたいと思います。帳面の袋に入っているフェルトを帽子に着け、7月7日(月)までに持ってきてください。ご協力をよろしくお願いいたします。

☆フェルトの付ける位置

帽子の後ろ側のつばに縫いつけてください。→→  
昨年の帽子にフェルトが着いていましたら、  
新しいフェルトと付け替えてください



## トトロ 組

## 今月の目標

- ・夏の生活の仕方を知り、夏の虫や草花に興味、関心を持つ
- ・友だちや保育者とかわいながら、砂、土、水を使った遊びを楽しむ

## 3 歳児

コーナーに新しいおもちゃが入りました。その一つがビーズ通しです。ビーズ通しでは穴にヒモを通すのが難しく入っても出てきたヒモの先をつかむのに苦戦しています。しかし諦める子は少なく、一つ入ると嬉しそうに「みてー！」と見せてくれます。ヒモいっぱいビーズを通すのに集中力も根気もいるのですが最後まで通せると達成感を感じているようです。出来上がると「飾っという」と誇らしげに見つめる子どもたちです。

°西の広場ではお団子作りに夢中になる子が増えてきました。始めは保育士に作ってと言っていた子も作り方を教えると「出来た！」と大事そうに砂をかけ、こすり、の作業を繰り返しています。まだ形はいびつですが自分で出来たという自信になるようです。

お部屋に帰る頃になると一緒に作っていた友だち同士で「どこに隠す？ここやったら見つかるな、ここやったら虫が登るよ！」と隠す場所にも一つ一つ考えや理由があるようです。団子を隠し終えるとなかなかその場から離れようとせず「これは私の」、「これは僕の」と自分で作ったお団子をなんども確認する子どもたち。お団子への思いやりや大切さが伝わってきました。

°歯磨き指導が始まり一週間ほど給食後に年少児だけで集まり歯の磨き方や歯ブラシの使い方を伝えました。歯を磨く大切さを知り習慣になってほしいと思います。



## 4 歳児

おじいちゃん、おばあちゃんとのミニ運動会。とても楽しみにしながら練習に取り組んでできました。かけっこでは練習中、走りたくないと思えることができなかった子もいましたが、本番当日、全員がヨーイドン！の声でゴールに向かって一生懸命走る姿がありました。

「1位やった！」と嬉しそうに話す子、「〇〇くんはやかったわ！」「1位じゃなかった！」と悔しさを伝える姿がありました。年中の競技も大好きなおじいちゃん、おばあちゃんと一緒にということで一人ひとりが楽しそうな表情をみせ頑張る姿がありました。子どもたち自身、ミニ運動会ではいろんな気持ちを感じることに出来た一日になったと思います。ご参加、ご協力ありがとうございました。

梅雨に入っても天気の良い日が多かった6月。戸外でたくさん遊ぶことが出来ました。

西の広場に行った時に、泥だんごを集中して作る姿があり、子どもたちのいろんな表情をみることが出来ました。以前までは保育士に「おだんごつくって〜！」と言っていた子どもたちでしたが、作り方を少しずつ伝えたと真剣な表情で泥だんご作りに挑戦する姿がありました。最初はうまくいかず何度か壊れてしまうこともありましたが、その度にあきらめず懸命に作る姿がみられました。その分一人で作ることが出来たときには、とても嬉しそうな表情で「ほら、できたよ！」と保育士にみせに来ていました。このように子どもたちは、楽しさ、嬉しさ、悔しさ、悲しさなどたくさんの感情体験を味わいながら、「次もやってみよう！やってみたい！」といろんなことに自分たちから挑戦していく力がついていくんだと思います。

## ピノキオ組

### 今月の目標

- ・夏ならではの遊びを開放的に楽しむ。
- ・夏の生活の仕方を知り、一人ひとりが安全に快適に過ごす。



### 3 歳児

6月に入り、園生活に慣れてきた子どもたちは、友達の名前を呼んで自分から関わっていきこう、一緒に遊ぼうとする姿が多く見られるようになりました。

歯みがき指導では、歯みがきの大切さのパネルシアターを楽しんでみていました。そして、正しい歯みがきの仕方を教わりその日の給食後から歯みがきをしました。その時、教わった通りに丁寧にみがき「こうやってみがくんやんな」とみがいているところをみせてくれました。正しいみがき方で毎日丁寧に歯みがきを続けていけるように援助していきたいと思います。

給食時に年少さんが給食を席までもっていくのを手伝ってくれている年少さんの子どもがいました。いつも年中・年長さんに助けてもらっている姿をその子はよくみているんだなと思い嬉しく思いました。また、正しい箸の持ち方を日々伝えている中で、箸の持ち方が上手になってきている子が増えてきているのも嬉しいです。

雨降り散歩では、傘をさして「カエルおるかな？」などの会話をしながら雨の中の散歩を楽しみました。また、雨があがった後遊びに出かけた時は泥だんごを作ったり水たまりで遊んだりしました。これからも今の時期ならではの自然に触れながら、その時期にしか味わえない遊びを楽しんでいきたいと思います。

### 4 歳児

6月7日にミニ運動会がありました。

当日までにかっこや「先生、落ちないで！」の競技の練習を何度も練習してきました。練習はいつも喜んで楽しそうに取り組んでいた子どもたち。当日はたくさんのおじいちゃん・おばあちゃんに参加していただいて、ありがたく思いました。子どもたちの表情も普段とはまた違って柔らかく、いきいきしていたように思います。ご協力ありがとうございました。



歌唱指導で、6月に一度年少児が年中児の様子を見学に来てくれました。前々から、子どもたちには‘もうすぐしたら年少さんが見に来るんだって！だからみんな、頑張ってる姿みせようねー’と話していました。いざ、年少児がくると、張り切って取り組んでいる様子や嬉しそうにしている子もいました。ぼくたち・私たちがお手本になっているんだ！という気持ちが嬉しく感じるのでしょね。6月の歌唱指導では、主に簡単なリズム打ち（楽器も取り入れて）、「うたえバンバン」などを教わりました。「うたえバンバン」は子どもたちも大好きで、毎日のようにお部屋でも歌っています。また、年長児が歌っている「ピリーブ」もお部屋で弾いてみると、子どもたちもい

つのままにか覚えてしまって、今では年長児がいなくても歌えるほどです。

今月は給食時に年中児が年少児が落してしまったお箸をすすんで拾ってあげて新しくかえてあげたり、ご飯の日にはお弁当箱についたご飯粒を集めて食べやすくしてあげたりと、優しい姿が見られました。そういったときの言葉かけが、とても優しく視線を同じくらいに落とし、「食べれる?’ ‘これ、やってあげようか?’ と感心するほどです。来月もたくさんこういった姿が見られるといいなと思います。

## ライオン組

### 今月の目標



- ・ **フールあそびを友だちと楽しむ中で、自分なりの目標に向けて繰り返し挑戦する。**
- ・ **年長組として取り組んできたことに自信をもつ。**

6月は、ミニ運動会で挨拶をしたり、他の保育所との交流があったりと年長児としての活動が始まった1ヶ月でした。

ミニ運動会の練習では、0・1・2・3・4歳児の競技で使う道具の出し入れを手伝ってあげたり、おじいちゃん・おばあちゃんの代わりとして競技に手をつないで参加したり、誘導したり、言葉掛けをしたりする優しい関わりが見られ、またそれをいろいろな保育士にほめてもらえることによって年長児という自信や自覚が出てきました。

牧田保育所との交流は年5回ありますが、その第1回目として12日に行ってきました。初めは緊張して何度も練習した自己紹介が言えなかった子もいましたが、遊びやグループ活動を通して少しずつ会話したり、触れ合ったりという姿が見られるようになりました。竹馬や竹ののぼり棒が園庭にあり、裸足になっていきいきと遊ぶ子どもたちの姿がありました。お互いの園を行き来する中でいろいろな友だちとの関わりが広がっていきなるといいなと思います。

異年齢児クラスだと、我慢したり、ゆずったりできることも、年齢別の活動の時には自己主張が強く、頭では分かっているけど、後に引けなかったり、言われて嫌な言葉をしてしまうというトラブルがよくあります。その都度、「どうしたら良かったのか」を子どもたちと考えています。そして「引かいた、転んだ、すりむいた傷はいつか治って消えるけど言葉でつけた心の傷はなかなか治らないし、消えないから、自分の言われて嫌なことは言ったり、したりするのはやめようね」と伝えています。子ども同士の関わりの中で思ったことを言いあったり、ケンカすることは人間関係を作っていく中で大事なことです。その中でも人の心や気持ちに気付くことのできる優しい子どもたちに育っていけるようになってほしいと思います。

